



羅針盤

2013年度 第13号
都立豊多摩高等学校
進路図書部
2013.11.27



文部科学省から、平成25年度大学入試の実施状況まとめが発表されました。概要を紹介します。さらに詳しい内容を知りたいければ文科省HPを参照ください。

◆入学志願者数及び志願倍率

区分	国立	公立	私立	計
入学志願者数	404,061人 (413,115人)	154,767人 (153,684人)	3,425,863人 (3,223,504人)	3,984,691人 (3,790,303人)
志願倍率	4.2倍 (4.3倍)	5.5倍 (5.5倍)	7.6倍 (7.1倍)	6.9倍 (6.6倍)

(注) ()は前年度の数值。入学志願者数は延数である。

◆推薦・AO入試の実施状況

年度	推薦入試			AO入試(国公立)			AO入試(私立)		
	大学数	学部数	入学者数	大学数	学部数	入学者数	大学数	学部数	入学者数
25	730 (98.6%)	2,065 (93.9%)	211,167 (34.9%)	70 (42.9%)	172 (31.0%)	3207 (2.4%)	466 (80.8%)	1,154 (70.2%)	49,095 (10.3%)
24	731 (98.7%)	2,050 (93.9%)	206,942 (34.8%)	70 (42.9%)	174 (31.4%)	3416 (2.7%)	466 (80.5%)	1,132 (69.4%)	47,210 (10.2%)

(注) ()は大学数・学部数・入学者数それぞれの全体数に対する割合である。

上の表から読み取れること

- ・受験者数は国立大では若干減少し、私大では増加している。
- ・推薦入試はほとんどの大学が実施していて、入学者数も増えている。全入学者数に占める割合は3分の1を越えている。
- ・AO入試は、私大では8割が実施しているが国公立では半数以下にとどまっていて、その傾向は変わっていない。私大のAO入試入学者数が過去最高になったのに比べ、国公立のAO入試入学者数は減少した。



以前にもお知らせしましたが来年度新規開設学部情報の一部です。ご参考まで。

- 上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科 220名
- 武蔵野大学 法学部 法律学科 150名 政治学科 100名 (政治経済学部募集停止)
経済学部 経済学科 100名 経営学科 200名
- 明星大学 デザイン学部 デザイン学科 120名 (造形芸術学部募集停止)
- 創価大学 国際教養学部 国際教養学科 80名
- 東京家政大学 子ども学部 子ども臨床教育学科 100名 看護学部 看護学科 100名
- 日本体育大学 保健医療学部 整復アスレティック学科 90名 救急医療学科 80名



3年生は過去問の練習に熱が入ってきた頃かと思います。進路室の赤本貸し出しもだいぶ人気が高くなってきました。ただし、過去問演習も上手にやらないと自信を喪失してしまったり、他の大事な勉強がおろそかになったりしかねません。蛍雪時代（2012年9月号）から参考になる記事を抜粋して下に紹介します。3年生の皆さん、「焦り」や「不安」に負けないで！落ち着いて進んで行きましょう！

<過去問の解き方>

●時間を意識して実戦さながらに解答する

問題を解く際は時間を計って本番同様のプレッシャー・時間配分の中で解答すること。じっくり理解を深めるのは採点後の復習時にしよう。

あらかじめ1問にかけられる時間を算出しておいて、時間内に解答しよう。どの程度のスピードで解けばいいのか、どれほどの時間で見切れればいいのか、体感すること。

●1試験分を解く

1問1問解くのではなく、科目ごと1試験分をまとめて解いて、集中力や試験時間術等を試しておこう。入試前には全科目分をまとめて解く訓練もしておくこと。

●全問を完璧に解答しようと思わない

過去問には超難問も含まれている。こうした問題に接した際に重要なのは、解けるべき問題なのか、解けなくてもよい問題なのかを見切れるようになることだ。解けなくてもよい問題は時間をかけて理解しようとせず、取れそうな部分点と見切る方法を確認してよしとしよう。偶然性によらず、必然的に解ける問題を確実に解くこと。それが安定した得点力を身につけるコツなのだ。

●問題から大学が求めているものを読みとる

大学は入試を通して必要な人材を獲得する。入試の問題には大学の戦略が現れるので、問題の傾向を読みとることで大学の思想や必要としている人物像が明らかになるのだ。漠然と過去問を解くのではなく、大学と対話するつもりで真剣に接しよう。

●過去問集を複数用意して最高の解法を探し出す

第一志望校の過去問集は複数用意して、解答を見比べてみよう。記述式試験の場合、本ごとに解法や解説がかなり違っていることがある。わかりやすい解説を探したり、よりよい解法を探すのに役立つはずだ。特に数学や英作文、歴史などの論述問題の場合、正解を比較することで大切な部分があぶり出されてきて、本質理解につながるものが少なくない

●過去問の傾向を鵜呑みにしすぎない

過去問を見て大学の傾向を把握する作業は不可欠だが、傾向が変わることもないとはいえないので、鵜呑みにしすぎないこと。多少傾向が変わっても対応できるように、幅広い知識を身につけておこう。最新の入試情報を集めておくこと。

●過去問から大学のメッセージを読みとろう

受験勉強の目的は志望校に合格することにある。そして入試で合格最低点を取ったとき、その目標は達成される。自分の学力と合格最低点との差を埋める作業が受験勉強であるわけだが、その差は過去問を解くことによって明らかになる。どんな勉強をするにしても志望校を、つまり過去問を強く意識しながら行ってほしい。できれば第二志望校以下の過去問にも目を通しておくこと。実力が身につけてきて、過去問にも見慣れてくると、次第に出題者の意図が読めるようになるはずだ。



以上